

Top Interview

なぎら健吾 Kenichi Nagira



写真提供：有限会社ブルックス・コミュニケーションズ

～生粋のミュージシャン、なぎら健吾の肖像～

『タモリ倶楽部』『出沒！アド街ック天国』『虎の門蔵番王』等をはじめ、ちょっぴりオトボケ風の独特のキャラクターと共に、お茶の間ではその多趣味ぶりや“東京・下町案内人”的な一面を魅せてくれているなぎらさん。

筆者の世代では、『ひらけ！ポンキッキ』で大ヒットした「およげ！たいやきくん」とカップリングの「いつぼんでもニンジン」を歌った人。もっと若い世代には、1970年伝説の『中津川フォーク・ジャンボリー』に「怪盗ゴールデンバット」で飛び入り参加したことがデビューのきっかけとなり、現在も歌い続ける偉大なるフォークシンガーであることさえない人たちも多いだろう。そんな人たちにも、なぎらさんのミュージシャンの顔を知ってもらえれば最高だ。

(2006年10月27日“珈琲舎パン”にて)

取材 & 文：加瀬正之

◆中学生以降の音楽歴は『日本フォーク私秘の大全』に書かれていますが、それ以前はどんな音楽を聴いていたのですか

それ以前は音楽に全然興味持ってないですね。全く普通の子どもと同じでした。自分の中で音楽が好きだと思ったのは、「ベンチャーズ」で中学校くらいだから、それまではただボーッと聴いていただけです。レコードなんかはヒーローものの主題歌とかそんなものですかね。

◆現在の音楽活動について

ライブははずっとやってますよ。(毎月最終土曜日の東京・吉祥寺マダラ2のライブ・コンサートは25年以上も続いている) CDも去年出しました。(タイトルは『裏技』—P7参照)

◆ライブで昔の曲も演奏されるんですか

うん、やりますよ。でも、そのままだとただ懐かしいになっちゃうから、今の解釈でやるようにしてます。

◆デビュー・アルバム『万年床』

いろいろ影響も受けましたけど、カントリーっぽいのが好きだったから、カント

リー・テイストでやりたいなっていうだけで、純然たるものは別に無かったですね。とにかく30年前ですからね。自分で今聴くことも全く無いし、今現在進行形でやっているから「あれはもう終わっちゃったことだよ」ってなっちゃうんだよね。しかも、あれデモテープが入っちゃってんですよ。ダメならダメでいいんですけど、デモ・テープ入れられちゃったなああっていうね。

◆当時、カントリーではどんなアーティストが好きだったんですか

いろいろ聴きましたけど、一番好きなのは「ハंक・ウィリアムス」でしょうね。

◆「フォーク」か「カントリー」か

こっちは一貫してやって、ただ唄を歌っているってだけですからね。カントリーっぽかったりして、ジャンルはないとは言いませんけど、そういうジャンル分けは聴き手が勝手に思うことだからね。

◆なぎらさんにとってフォークとは

自分たちの手による音楽で感じかなあ。作詞家が机上で噓を作っているんじゃないって、本物の若者の声だっていうのが

フォークだと思いますけどね…当時はね。

◆最近のフォークっぽい音楽でいいなあっていうものはありますか

全くない。アコースティック・ギターでやればフォークって思われるかもしれないけど、精神的に全く違います。まるで歌謡曲だよな。

◆フォーク・シンガーとしての夢

いろいろやってみたいことはあるんですけども、やっぱり姿勢は同じだからずっと変わらないんじゃないかな。雰囲気は似てる昔の演歌とかね。今の演歌じゃないですよ。この間のアルバム(『裏技』)にも何曲か入れたんですけど、ああいふものを発掘してやりたいですね。

◆最近聴いている音楽は

今のカントリーか、あるいは、50's、60'sのオールディーズかなあ。

◆なぎらさんにとってロックとは

フォーク一辺倒だったから、何ていうことなかったね。あんなもの聴いたらダメになっちゃうっていうのがあったから。先輩にも言われていたし、商業ベースに走っ



「怪盗・ゴールデンバット」も収録
万年床 / なぎらけんいち 参上
なぎらけんいち
(ビクター・エンタテインメント: VICL-61809)



「悲惨な戦い」も収録の
深夜放送で大人になったあの
葛飾にバックを見た
なぎらけんいち
(エイベックス: IOCD-40082)



「街の風になって」も収録の
なぎらけんいち
(エイベックス: IOCD-40027)

The Walker 5

るんだよね。「これ聴いてよ。凄いだろ」って。でも「うーん、凄いな〜」ってね(笑)。スイングとかビッグバンドなんかアメリカの香りがあるから好きだし、ジャズは嫌いじゃないんですね。まあ、かといってそんな好きでもないけど(笑)。うん。

◆ジャズ・ミュージシャンとの共演

「坂田さん(坂田明)」とか「山下さん(山下洋輔)」とかとは昔よく一緒に飲んでたからね。「なざら、お前ずっとDマイナー弾いてるよ!」って言われてフーク・ギターでずっと弾いてるの。それで、「ねえ、坂田さん、Dマイナーだけでいいの?」って言うのと「いいんだ、この曲は!」って言われて、「変な人たち」って思ってた(笑)。飲み屋でずっとDマイナー弾きながら、「よくわかんねえなあ」って(笑)。みんなが集まる所が一緒だったからね。「ジャックの豆の木」って所で。ただの馬鹿話の方が多かったんですけどね。

◆下町を特集した雑誌に連載をさせていますね。

あれも難しくてね。「下町の定義」をみんな間違えてるし、ただ下町と呼ばれていてことでやってるから、そういう風に考えると、「下町調」「下町風」なんですよ。私から言わせると。でも、確固した下町っていう今は無いし、なざらの中でも迷ってやるんじゃないかなあ、うーん。だから、北千住を下町って言て「何か一筆書いてくださいよ」って時に、「俺、何で下町じゃないところを下町って言て書くかきやないんだろ。あれ宿場じゃないか」って、「そういう文章なら書いてみせますよ」と。「なざらともあろうものがこれ違うじゃないか」って言われることが凄く多いんですよ。だから、先に否定しておかないと、「下町じゃないけど」「下町風」って言わせてくれる?」って。それを肯定しちゃって、編集的につらいところがあるんですよ。

◆今の東京で下町の雰囲気が残っているところはありますか

雰囲気残っているところは、「浅草」ですよ。それから「月島」ですよ。あと、まあちょっと狭いエリアだけど「門前仲町」...とかでしょうね。本当は違うんですけどもね。今は全部観光スポットみたいになっ

ちゃっているから。一般の人に分かりやすく言うんならそうかなあって感じかなあ。

◆お笑いについて

やっぱり江戸前のお笑いが好きなのかなあ。上手いなあって思ったのは、「志ん朝」。他にも「小三治師匠」とか「談志師匠」とか、たくさんいましたけどもね。最近のお笑いもテレビで見てますが、いいのが出てきても直ぐやらなくなるでしょう。それでバラエティーに出てチャラチャラって、自分の芸を殺しちゃうなとばかりやって、「もったいねえなあ」って思いますね。その間に切磋琢磨してやればいいんだけど、全然やらないで。腕は落ちてちゃって、ただバラエティーだけ出てるっていうね。上手い人もいたんだけど、ダメですね。

◆カントリー&ウェスタン出身「いかりや長介」さん(ザ・ドリフターズ)との接点

結構会ってましたよ。カントリーのコンサートなんかに現れてたんですよ。そういう時に、喋ってたんですけどね。でも、もの凄く喋る人なんですよ、あの。それで、「なざらのライブ絶対行きたいから教えてくれ」って言うんだけど、「絶対、この人ライブ中にずっと喋るなあ」と思って言わなかったのよ(笑)。外タレなんか来てパーティー形式のコンサート会場にいると、「ねえ、なざら君」って喋りばなしなんだよ。俺、聴いてたんだけど(笑)。だから外タレでうなんだから、俺のライブ呼んだら絶対ダメだあって思って(笑)。晩年はCMでベースなんか弾いてカッコ良かったけど。いかりやさんが演奏したところを見たのは一回か二回。やっぱり、大分離れてたし、中途半端にやったら失敗するっていうのが見えてたから、極力避けてみたい。ああいう人だからやるならキッチリやりたいていうのがあるから、下手なことしやうって「何だよ」って言われるよりは、やらない方がいいっていうのがあったんじゃないかな。

◆『ひらけ!ポンキッキ』で「いっぽんでもにんじん」や「ママのみぎてはまほうのて」を歌うことになった経緯

あれはただ歌唱参加しただけですよ。それだけ。フークシンガーは安く使えるっ



てこともあったんじゃないですかね。だって歌謡歌手の重鎮が「うん」とは言わないでしょ。フーク・シンガーとしての抵抗はどこかにあったのかも知れないけども、仕事だっていう割り切りかなあ。レコーディングはするけども、別にステージで歌うわけじゃないし、自分の中で約束事っていうのがあったんじゃないかなあ。

◆ミュージシャンとしての転機

フーク・ブームが去って、見事に仕事が無くなってくるんですよ。それでライヴハウスまわりやってても、全く楽しくなくなって、おざなりにやっちゃって、金稼ぐ道具みたいになっちゃったんですね。金稼ぐ道具っていうのは、ちょっと聞こえがいいなあ...、今日食うために歌っているという感じがしないかなあ。自分でも楽しいわけじゃない。楽しい風にするお客は馬鹿じゃないからバシですよ。それで、結局客が来なくなりますよ。でももうでもないしと食えないんですよ。先輩達には「テレビに出るなよ!」って言われてるし、それを頑なに守ってるわけじゃない。でも、1982年頃かなあ、「もうそんなこと言っていられない!」「そんな馬鹿なこと守ってたら、おまんまが食い上げだなあ」って思って、テレビに出るようになったんですよ。それで、そっちで食いふちはどうかなってきて、そうなる時に歌うのが楽しくなってきた。お金の心配が要らなくなってきたからね。今日のおまんま稼ぐために歌っているんじゃないから、それは楽しいですよ。お客さん

懐かしい昭和30年代の下町の風俗・遊びが満載



東京昭和30年代下町小僧
なざら健吾 (筑摩書房)
ISBN4-480-02918-4 C0195 ¥798

半年間で二百箇所を取財し
厳選の酒場二十店を紹介



東京酒場漂流記
なざら健吾 (筑摩書房)
ISBN4-480-03048-4 C0195 ¥756

フーク全盛期の真実を
捉えたフーク史の傑作



日本フーク私的大全
なざら健吾 (筑摩書房)
ISBN4-480-03446-3 C0195 ¥798

遊び心満載! 江戸の遊び
をアウトドア感覚で体験



東京の江戸を遊ぶ
なざら健吾 (筑摩書房)
ISBN4-480-03955-3 C0195 ¥714

も楽しく聴いているのかなあっていうのと、
反対に自分の歌が見えてきたのかなあ。

◆それはちょうど『2年B組仙八先生』
に下宿の主人役で出演された頃ですね。

その頃ですね。俳優になろうとは思って
ないし、やっぱりお金を稼ぐ手段だってい
う感じの方が強かったかなあ。「自分を欲
してくれるんだから、じゃあやってみよう
かなあ」ということぐらいで、あくまでも
バックボーンはフォークっていうのはあり
ますからね。

◆現在の趣味の写真

今も写真撮ってまわってますよ。だんだ
ん趣味じゃなくなっちゃたけど。やっぱり
下町が多いですよ。町と人ですね。東京
には懐かしいような風景が転がってま
すし、そういう人たちが歩いてますから。
自分が育ってきた風景に触れたいんで
しうね。去年も写真集『東京のこっ
ちがわ』出しましたし、今年ももうすぐ『町
のうしろ姿』っていう写真集が出ます。

◆ミュージシャンとしての夢・野望は

もうそこに突き進もうっていう時代は終
わっちゃったんですね。だから「何を
やろう」「よし、今度はこういうことし
てみよう」という、そういう大きな野望
みたいなものは無くなっちゃったんです
よね。でも、ちっちゃいのはポロポロ出
てくるんですよ。そういうものが出てきた時に
それを捕まえるのが夢かなあって思っ
てますよね。



写真提供：有限会社ブルックス・コミュニケーションズ

■スケジュール情報（「下町キッズ」なざら健彦のページより）
<http://hot-milk.fuyu.gs/nagira/cgi-bin/schedule.cgi> をご覧下さい。

■コンサート・ライブ・イベント情報

出演・なざら健彦&オウンス（時々ゲストあり）

（年内は）11月25日（土）予定／12月30日（土）予定

※毎月最終土曜日開催（変更がある場合がありますので必ず事前確認して下さい）

会場・吉祥寺マンガラ2 Open18:30 Start19:30

料金・前売 2800円＋ワンドリンクオーダー 当日 3000円＋ワンドリンクオーダー

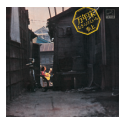
お問合せ 042-242-1579 マンガラ2

【なざらさんに関するお問い合わせ先】

有限会社ブルックス・コミュニケーションズ

電話 03-5722-5084 Fax 03-5722-5086 http://homepage.mac.com/brooks_c/

The Walker 読者のみなさんに抽選で、なざらさんの
サイン入りCD（1名）か著書（1名）プレゼント！



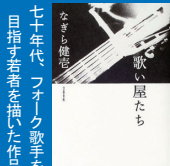
『万年床 / なざらけんいち参上』(CD) 『日本フォーク私的大全』(著書)

★ご希望の品（お一人様一品限り、送付先住所、氏名、電話番号、
下記アンケートに答えて、件名「なざらさんプレゼント係」と明記の
上、アドレス (thewalker@k07.itscom.net)宛てにお送り下さい。
【アンケート】①性別 ②年齢 ③職業 ④ The Walker をGETした
場所 ⑤なざらさんインタビューの感想 ⑦なざらさんへのメッセージ
⑧ The Walker の感想 ⑨今後取り上げて欲しいアーティスト
☆当選は発送をもって代えさせていただきます。

一部は小学生の下町探検！
二部はなざら健彦が下町を語る



ぼくらは下町探検隊
なざら健彦（筑摩書房）
ISBN4-480-03800-0 C0185 ¥819



歌い屋たち
なざら健彦（文藝春秋）
ISBN4-16-323090-4 C0093 ¥1,785

なざら健彦新刊 11月22日発売！



町のうしろ姿

都電沿線 2006 年夏

なざら健彦の下町風情の残る
風景を収めた写真集第二弾！

写真集

岳陽舎

ISBN4-907737-84-X C0072

¥1,995円（税込）11/22 発売！

なざら健彦デビュー 35 執念（2005 年）記念！



裏技

オリジナル1曲に、明治・大正・
昭和の作品の中から後世に残
した珠玉の裏名曲 12 曲を厳選
し歌った最新歌謡アルバム。

CD アルバム

テイチクエンタテインメント

TECE-25595

¥2,500（税込）発売中！

東京のこっちがわ



なざら健彦が下町をテーマに撮
り続けている写真の中から 100
点以上を掲載した初の写真集。

東京を語る粋なエッセイも収録。
エッセイ写真集

岳陽舎

ISBN4-907737-71-8 C0072

¥1,995円（税込）発売中！

The Walker 7